



きのこ



全作品と講評
www.columnland.net

世界のキノコ図鑑

アナタダケ

ハートの形をしたキノコ。惚れ薬の元になるとか。

エロンギ

なんだか形がとっても卑猥。

イノキ

根元がしゃくれている。別名アントニオ。

メメシイタケ

食へると女々しくて女々しく女々しく女々しく。

マツダケ

松田家の庭下のみ生えると言われている菌類品。

ブナンシメジ

べつたな森裡にのみ生えるしじみ無難なキノコ。

「きのこの山 v s たけのこの里」

あなたはきのこの山とたけのこの里、どちらが好きだろうか。

「きのこの山とたけのこの里、どちらの方が上か」という議論は昔からあった。しかし、インターネットが普及したことで、今では「きのこのたけのこ戦争」と呼ばれるまでに発展している。

では、何故そこまできのこの山・たけのこの里に関する議論が白熱しているのだろうか。その謎を解くために私は今回両陣営に質問してみた。まず、きのこ派に「何故きのこの山の方が上なのか」を尋ねてみたところ、きのこの山はたけのこの里よりも先に発売されたものであり、種類もたけのこに比べ豊富である。

- ・ きのこの山のクラッカー部分は一枚の大きなクラッカーをくり抜いて作っており、このクラッカーのカリツとした触感がたまらない。

（ちなみにくり抜いた時に出る細かいクラッカーを集めたものがたけのこの里に使われている。）

- ・ チョコの部分とビスケットの部分が分かれているのがいい。
- ・ きのこの山が好き。出来れば木の部分をポッキーにして欲しい。

などの意見が寄せられた。

一方、たけのこ派にも聞いてみると、

- ・ 売り上げはたけのこの里の方が上である。
- ・ あのサクサク感が超デリシヤス。
- ・ たけのこの里の方がカロリー控えめ。
- ・ たけのこはチョコがおおいから好き。でも、ほんとうのたけのここときのこは、きのこ（とくにしいたけ）がすぎ。

という返答があった。

果たして、どちらの方が上なのだろうか。答えは簡単である。アルフォートミニチョコレート一択である。あのオシャレなデザイン。全粒粉入りのビスケットとチョコレートハーモニー。そして、値段もお手頃である。何故きのこたけのここときで争っているのか、私には理解できない。アルフォートこそ、一番なのである。

今ここで、史上最悪のゲームが始まろうとしている。

ふふ、藁のなかに潜ませた仕込み針。毒がそろそろまわってきたんじゃないか？

張り巡らせられる策略。

私の家は堅く鋭利な木の枝で作り上げられている。うかつに触ると怪我するぞ。

己の身を守れるのは自分のみ。

ハッそんな家吹き飛ばしてくれるわ！大狼真剣奥義『暴狼大息吹』！！

殺らなければ、殺られる。

『三匹の子豚』

～生き残りをかけた壮絶バトルロワイヤル～』

ハッハッ、狼スーパの出来上がりだぜえ！！！！

そこには、絶対的な強者など存在しない。

生き残るのは誰だ

わたしはきのこ

ひろい さばくに
しろい さばくに
みつけたよ みつかっちゃった

ひらいた とびら
えがいた とびら
のぞいたら とびだしてきた

おおきな うみで
かがやく うみで
みつけたよ みつかっちゃった

ゆっくり すすむ
すてきな じかん
もりのなか ふと てにした

そこには

まわる まわる
ほうしを ふりまきながら
おどるふたりが いて

みきをつたい
しずかに つながっている
つよい ちからで

あなたは きのこ
わたしは きのこ
たべていい？
だめ、たべちゃだめ

あなたは きのこ
わたしは きのこ
つんでいい？
だめ、つんじゃだめ

どんな ところに おかされようと
ずっと おなじ きのこ うえで
おどっていたい
そんな きもちになる

あなたは きのこ
わたしは きのこ
たべていい？
だめ、たべちゃだめ

あなたは きのこ
わたしは きのこ
つんでいい？
だめ、つんじゃだめ

あなたに であい
わたしは であい
そらを みた
みることのできない そら

すこしだけ ひかって みえた

「この世のいふこと……」

「リーマン和」

「ワニの血」

「ちよつと何でそうなんだ！間違つちやいないけど……まあいいわ、いつものことね。
チ「シート」

「都会とは違う香りに、僕たちは包まれる。君と二人できのこ狩りに行くと、木々の呼吸を感じた」

「ただ悔しかったんだ。何故俺より舞茸の方が最良されるのか。名前は一字しか違わないのに、俺はスーパーで安売りされている。——そう、俺は舞茸」

「毛の先ほど小説とか要求してないよ！シートスポットきのこ狩りかよ、話ちゃんと繋げるよ……全く、ケーキ」

「君と二人で手を繋ぎ、秋の風情を感じながら歩を進める。君は無類のきのこ好きだから、喜んでくれたみたいだ」

「だから俺は心に決めたのだ。舞茸以外のきのこをこの世から葬り去ることを。俺のきのこ狩りが今、幕を開ける」

「涙腺が緩んできたよ、もう本当にお前ら何なんだよ！ツツツ所を補足しろなんて言つてないよ、きのこ狩り意味違つよ……もう嫌だ、ルーキー」

「いつもの笑顔を咲かせながら、僕の隣を歩く君が愛しい。けれども幸せを感じていたのも束の間、物陰から何かが飛び出してきた」

「試しに近くの林に潜入。まずは俺の能力を測る為に、手始めとして偶然そこにいた一組のカップルを標的とする。その時」

「切るな、何故そこで切る！続き気になるだろ……え、私に作れど何その期待に満ちた視線。無茶振りだよ、ふざけるなよ……わかつたよ。」

煌く閃光が迸った。気が付くと少年が持つていたきのこが長く伸び、剛健な剣と盾に変貌している。舞茸の秋風を操る猛攻を振り切ると共に少女を庇いつつ、彼は相手に対峙した。しかし舞茸自身も、自らの誇りを掛けた負けられない戦いである。二人は無限とも刹那とも思える時間の中、睨み合い、そして(中略)「そんな、ゴッドオブエリシギよ……」彼の者にその力を与えし神のえげつない選択により、舞茸は見るも無残に散つていった。「少年っ、俺の分まで……」初めは敵対していたものの、少年自身も松茸の所為で家族を失った身としては、舞茸は共に戦う同士だったのに。これは、神に対する冒瀆か、世界への反逆か。少年はゴッドオカ略に刃を向け、駆け出してゆく。いざ、参らん——……………あ」

「あーあ。はーだんや」

おれあいつだけは許せないわ

なんであんなのが人気ものなんだろう

海外でも評判高いって

この前もチキンのふりしてもやし共とも仲良くやってさ

ピーマンみたいに中身のないやつともうまく馴染めるしさ

八方美人ってこのことだよな、まったく

調子に乗って味を占めやがってさ

でもさ、知ってた？あいつって菌だらけなんだぜ

ていうかもはやあいつ自身が菌だよな（笑）

しかもあの帽子（笑） 編笠かってか何時代だって話（笑）

でもおれの出番の時だいたいあいついるからさー

あーもう、焼いても煮ても許せそうにないわ

『しらたきの嫉妬』

「もしもシリーズ」その1975

もしも、お金がキノコだったら

月の初め、お小遣いとしてお母さんが、お兄ちゃんにはシイタケを、妹にはシメジを渡します。ついでお父さんにはシイタケを五つ渡します。お父さんは若干何か言いたそうに、シイタケを財布にしまいました。妹は学校に行く途中、募金活動をしている人に出会いました。アフリカの子供たちに愛の手をと、財布に入っていたナメコとエリンギを募金箱に入れました。

お父さんは銀行員。少ないお小遣いとは裏腹に、職場では何万株ものキノコをやりくりする部長さんです。今日も、三件で総額千二百トリュフほどの取引を済ませ、キノコ庫の中身をチェックし、新人受付が長野オリンピック記念マツタケをどう換金すればいいのか四苦八苦しているところにアドバイスを出していました。そろそろ昼休憩というところで警察の人がやってきました。偽造キノコが出回っているらしく、シイタケとよく似たツキヨタケには特に注意が必要とのこと。

お兄ちゃんは学校が終わると、友達と一緒に駄菓子屋へ直行。あつという間にお小遣いのシイタケを使いきってしまいました。大量の五ナメコチョコで腹を満たしたが、友達が財布の中のシイタケを折ってターバンシイタケにしたのを見て、シイタケをとっておけばよかったとちよつと後悔。

お母さんは家計簿をつけながら、財布の中のキノコをチェック。ついでにへそくりがいつものところに生えているかもチェック。一通り確認が終わると、夕ご飯の支度を始めます。子供たちが帰り、お父さんも帰宅すると、一家団欒の楽しい時間が流れます。

深夜、子供たちが寝静まった後、お父さんとお母さんは寝室の隠し扉から地下室に入りました。何をしているのでしょうか。そこでは、なんとキノコが大量に栽培されていました。もちろん、個人でキノコを栽培するのは法律違反です。お父さんはいやらしくニヤニヤしながら、言い放ちました。

「こんなバカバカしいシステムのおかげで、俺たちは億万長者だ。まったく、こんな世の中にした奴に感謝しなくちゃなあ」

もしも、お金がキノコだったら、毒キノコじゃなくても人を狂わせる。

テオナナカトル

あなたは本当にそのキノコを食べるのですか。

そのキノコが何であるか知っていますか。

そのキノコを食べるとどうなるか知っていますか。

あなたは知っていて摂取するのですか。

——そうでしたか。それは失礼しました。

それではテオナナカトルの見せるしばしの甘い夢を

じっくりとご堪能くださいませ。

たしかにあなたの心は幸福に満たされます。

あなたの目は欺かれ、やがて体は苦痛に満たされます。

テオナナカトルを召し上がってから数時間は

外出なさらないことをお勧めします。

マジックマッシュルーム

泣いてよ

「ママ、ママ。」

「ちよっと待って。」私は野菜炒めをフライ返しでお皿に追い出しながらテレビを見た。

「ママ、ママ、あれ、あれ、何？」愛美が指さす先ではテレビの中のアリスがきのこを千切りまるでカステラをほおばる様にもふもふと食べている。

「あれはきのこよ。」卵を割って牛乳と回す。

「きのこ、きのこ、の、の。」

「はい、きのこ、きのこ。」娘の意味の無い言葉につられて私も意味なく呟やいて、オムレツを焼き始める。マーガリンの油がジューという。

「きのこっ。」何故か楽しそうな愛美。そんなにきのこが気に入ったのだろうか？

「きのこ、食べたい？」

「きのこ食べるー！」フローリングに足をダンダンいわせて喜んでいる。

冷蔵庫を開けてみるとマイタケがある。フライパンの火を急いで消して私はマイタケを切り始める。

仕事で普段あまり相手をしてあげられない分、余裕があるところやって甘やかしてしまう。

「はいっ、ジャーン。きのこオムレツ。」目の前に置かれたオムレツをじいとして徐に顔を上げる愛美。

「きのこ、どこ？」私はお箸でオムレツを二つに割いて刻まれたマイタケを指してみせる。

「ほら、きのこ。ジャーン。」愛美の顔を見ると何処か府に落ちない様子だ。

「ほらアーンして。」

「アーン。」そう言って素直に口を開ける私の御姫様は世界で一番可愛い。

黙ってもぐもぐする愛美。その顔からは段々と笑顔が消えてゆく。悩ましげな様な不満のある様な、そんな目でオムレツを見ている。

やってしまった。そうなのだ、愛美が食べたかったのはあくまでも不思議の国のアリスに出てるあのカステラみたいなきこのであって、マイタケではないのだ。

この子にとっては幻想を碎かれる事が一番辛いのだ、私だって期待が外れた時は辛い。何かにがっかりしても大人は一人で立ち上がって歩かないといけない。子供はそれがっかりを自分では処理できない。だから泣く。

泣くぞ、泣くぞ、娘をあやそうと身構える私の前で愛美はもぐもぐと口を動かし普通にそれを呑み込んだ。愛美の顔から不満や失望は消えている。代わりにそこには無表情が残っていた。

泣く気配は全く無い。もうこれ位のがっかりでは泣かない子になったのかしら。父親の居ないせいで色んな感情を処理させられている訳だからこれ位ではもう堪えないのは当たり前と言え当たり前なのかもしれない。成長、と捉えていいのか。それともそれは私の甘えなのか。

何か納得している様にすら見える娘の顔に見上げられて、私の方が泣きそうになる。

「あの、ちよつといいかな？（今日こそ君のことが好きだつて伝えるんだ！）」

「うん、なーに？」

「お、俺、き…のこ…が好きなんだ！（あつやべ声掠れた）」

「えっ！君もきのこ好きなの！？」

「えっ？」

「わー嬉しい！やつと仲間に出会えたよー！なんでみんなあの魅力に気づかないんだろうね？そりゃきのこって菌類でさ、たまにカビと一緒にゃんなんて言う人いるけど信じられないよね！それは只の生物学上の分類であつて、そんな理由できのこの素晴らしさが失われるなんてとんでもない！まず何がいうって、あのフォルムだよ…自然の神秘としか言いようがないよね…。やっぱさ、色んな種類があるけど私のイチオシはタマゴテングタケかな！まずあの見た目がばつちし好みなんだよ。オリーブ色のなめらかな傘、白くて艶やかな柄…主役をはるって感じじゃないけど、そつとそばに寄り添う妻のような…うん、大和撫子そのものだよ。可憐で繊細、でも本当は強い！こいつの毒の威力を舐めちゃいけないよ。食べたら腹痛・下痢・嘔吐はもちろん、その後治ったかのように見せかけて、肝臓とか腎臓とかの細胞を破壊し尽くされて最悪死ぬからね。ああこのギャップがたまらないよ！しかもね、知ってる？ひだに濃硫酸を垂らすと淡紅紫色になるんだよ！昔たまたま手に入ったとき理科の実験中にこっそり持ち込んで試して見たんだけどね、めちゃくちゃ綺麗だったんだあ！また見たいなあ…やっぱりさ、本州じゃなかなか自生してなくて、北海道にはあるらしいんだけど。そうだ、今度一緒に北海道に行つて探してみようーね！」

「あ、う、うん。いいね」

「ありがと！約束だよ！」

「…これでよかった…のか…？」

『冬虫夏草』

身体が蝕まれていく緩やかな感触に、記憶の始まりに浸かった生ぬるい産湯を思い出す。四肢の末端は辛うじて動かせるが、心臓のない右半身はすでに養分に成り下がっていた。

人類の栄華の終りは、数々のSF作品に描かれたような華々しいものでは無かった。宇宙から突如現れた銀色の円盤でもなく、月の裏側で見つかった黒いモノリスでもなく、それは、アメリカ・ヒューストンの菌類研究所から漏れ出した、チベットの秘境で発見された新種の冬虫夏草が突然変異したものだだった。

冬虫夏草という奇妙な名前は、潜伏している冬の間は虫が生きているが、夏になると茸が成長して植物のようになることからきている。本来、冬虫夏草という茸は生きた昆虫を苗床にするものだった。

しかし、突然変異したソレは、昆虫ではなく研究員に寄生した。研究員は寄生されたことに気づかぬまま、周囲に胞子をばら蒔いて変死した。4年ほどの長い潜伏期間。初めの苗床が変死して数日と経たないうちに、その茸は世界中で次々に現れ、人間は為す術もなく冬虫夏草の苗床となったのである。

私は、そんな苗床の一人だった。

初めの数カ月には各国政府が苗床となった人間を隔離したり、除菌を行ったりもしていたが、菌の爆発的な拡散に人の手が追いつくはずもなく、今こうして発症した私も汚い一人暮らしの部屋にただ横たわっているだけである。

ふと、呼吸の必要ないことに気がついた。合わせて、声を失ったことに気づく。右目も、まともに見えない様子である。おそらく、この意識もあと数日ともたないだろう。そう思って、私は口角を上げたのだった。

コンテスト結果

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
01	世界のキノコ図鑑	16 pt	1 位	0 sp
		何ともすばらしいギャグセンスに脱帽です。各行、さくりさくりと1行で本質をピンポイントに衝いてくるのが秀逸。私のいちばんのお気に入り、ブナンシメジくんでしたが、みなさまは？ 表紙で初登場首位なんて、すごい!カッコイイ!!おめでとう!!! おまけにイチオシフリーズ大賞もゲットです。ブラボー! イチオシフリーズ:「マツダケ」「エロンギ」「女々しくて女々しくて女々しくて」		
02	きのこの山 v s たけのこの里	6 pt	5 位	2 sp
		誰もが思いつく、きのこvsたけのこ。そこをじっくり、とてもおいしそうに調理してくださったのが◎。でもって軍配をいきなりアルフォートミニに上げるあたりのはぐらかしかたも、なかなかのワザでしたね。各班で話題沸騰です。 特別賞: ブランチュールも選択肢にいれる賞 from A班 (ブランチュール派のほうが多かった) アルフォート好きで賞 from H班 (アルフォートが好きそうだから)		
03	三匹の子豚～生き残りをかけた壮絶バトルロワイヤル～	0 pt	10 位	3 sp
		子豚に生き残り。「きのこ」をそんなふうに嵌め込んできましたかっ! 敢えてくどくど描かないけれど、でも藁に針とか、木が尖ってるか、仕掛けがわくわく想像できて、まさに映画のCM的な勢いの良さが、バトルロワイヤルとマッチしてます。 狙い通りに今週の最多特別賞です、おめでとう!! 特別賞: 11/19全国ロード賞 from B班 (映画の予告編みたいですね) お題の使い方が上手いで賞 from I班 (感動した) その発想はなかった賞 from J班 (気づかない)		
04	空に浮かぶ死の雲	7 pt	3 位	0 sp
		重たい存在感ですね。キノコ雲。この重量級テーマと向き合って、真剣に組み立てた気合いが、ずしりと伝わってきます。 さすがの文章力、しっかり読んでもらってのブロンズ・メダル、おめでとう! イチオシフリーズ:「あ、ああっ、あああ……………ああああアアアアアアアアアアア!!!」		
05	わたしはきのこ	0 pt	10 位	1 sp
		絵本でちょっとひとやすみ♪ ほのぼの、いいリズムできれいにメルヘンしてます。つつこんだら負けのファンタジーワールド、頭をからっぽにして、きのこと一緒に、レッツメリーゴーラウンド♪ 特別賞: ぼえむ賞 from E班 (ひらがなおんリーがすばらしい)		

06	マジックマッシュ☆レボリューション	3 pt	7 位	1 sp
		これはまたサーヴィス精神旺盛な。 三人のかけあいでありとりしてるはずが、いつのまにかお話が二つ生み出されて、かつ交差し始める！ まるで何を語らせてもお話になってしまう稀代のストーリーテラーの作者さんの似姿のような。 特別賞：なんどくかん字賞 from C班（よめません。） イチオシフレーズ：「God of ERINGI」「リーマン和」		
07	しらたきの嫉妬	1 pt	9 位	0 sp
		チキンにもやし、中身の無いピーマン。食べ物の擬人化が絶妙です。 正体はしいたけ君でしょうか。むしろ、しめじ君か？ 無個性だから八方美人。しらたき君が嫉妬するのも、そこが共通してるから、かも。 イチオシフレーズ：「焼いても煮ても許せそうにないわ」		
08	もしも、お金がキノコだったら	13 pt	2 位	1 sp
		これはおみごと！ お札やコインをキノコの種類に置き換えて遊んでいあたかと思いきや、栽培へと持ってゆくラストの展開で、みごとに毒キノコな、ぴりりと諷刺の効いたエンディングとなりました。表紙のインパクトには惜しくも負けたけれど、価値あるシルバー・メダルです、おめでとう!! 特別賞：星新一賞 from F班（星新一のショートショートのような作品） イチオシフレーズ：「もしも、お金がキノコだったら」		
09	テオナナカトル	0 pt	10 位	1 sp
		毒キノコつづきます。 まったりとした語り口が、かえって毒性の強さをひしひしと感じさせて、うん、麻薬撲滅キャンペーンに行けそう。 特別賞：怖いで賞 from G班		
10	泣いてよ	2 pt	8 位	0 sp
		心理描写の達人登場です。 姉の次は娘との関係性。いつもながら、しっかりと描ききって、こればかりは余人の追隨を許さない。すごいなあ。		
11	無題（タマゴテングタケ）	5 pt	6 位	0 sp
		なるほどなるほど。人生、巻き込まれが重要。まさにこれぞ運命の出会いっていうやつですね。 おしあわせにっ☆ イチオシフレーズ：「き…のこ……」「きのこが好きなんだ」		
12	冬虫夏草	7 pt	3 位	1 sp
		ゆらりと産湯から立ち上がって、身体が崩れてゆくようすについて、ぬめっこい迫真の描写力！ ぎゃああ、思いっきり後味悪く、来週の「世界の終わり」へと続く今週の裏表紙でした。ブロンズ・メダルゲットです、おめでとう！		

特別賞：先どり賞 from D班（「世界の終わり」でもいいよね）